

中間神社

中間神社がいつ創建されたのかを伝える記録は一切残っていません。しかしながら、社殿が 1892 年に再建され、1961 年に再度建て直されていることは分かっています。参道は風情のある 43 段の階段で、ばらばらの形をした石が利用された石段は現在でも自然な状態で残っています。境内にある小さな社は山の神を祀ったもので、建立は 1827 年です。秋になると、境内にはツマベニチョウが見られます。地元では、そこに咲く 3 枚葉のフウチョウボクの花に集まるこの蝶を「幸せの使者」と呼ぶ人たちもいます。中間集落のこの神聖な場所に祀られている神々は、木の神である句句廻馳（くくのち）、草の神である草野姫（かやのひめ）、食事を司る神である豊受姫（とようけひめ）です。毎年行われる岳参りの目的地は七五岳で、ちょうど中間を超えた尾根から突き出たその見事な尖頭は、中間の名所です。

中間集落のツアー予約は、yakushima.jp のサイトにアクセスしてください。また、屋久島環境文化村センターに直接お越しいただいても承ります。

〒891-4205 鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦 823 番地 1